

令和3年度第2回南知多町総合教育会議 議事録

開閉会の日時	令和3年10月26日(火) 午後3時15分 開会 午後4時8分 閉会
開催場所	南知多町役場 講義室
出席した構成員	石黒和彦町長 高橋篤教育長、折戸良直教育長職務代理者、坂口薫史委員、 吉原知味委員、山下陽委員
説明のため出席した職員	滝本恭史総務部長、鈴木茂夫教育部長、滝本功企画財政課長 鈴木和芳学校教育課長、中村浩二指導主事、八谷陽平指導主事
会議日程	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
傍聴人	1人

**(別紙)**

令和3年度 第2回南知多町総合教育会議 会議日程

日 時 令和3年10月26日(火)

午後3時15分～

場 所 南知多町役場 講義室

1 町長あいさつ

2 協議・調整事項

(1) 中学校再編住民説明会等の結果報告について

(2) 南知多町立中学校再編実施計画の策定について

(3) その他

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (鈴木教育部長)	<p>ただいまから、令和3年度第2回南知多町総合教育会議を開催いたします。進行を務めます教育部長の鈴木です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに町長よりあいさつをお願いします。</p>
石黒町長	<p>本日は、今年2回目の南知多町総合教育会議を招集いたしましたところ、教育委員の皆様におかれましては、ご多用の中、ご出席いただき、ありがとうございます。また、日頃から本町の教育の充実のためにご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>さて、中学校の再編実施計画につきましては、第1回の総合教育会議で、実施計画（案）についてご協議いただき、調整いたしました。今回、第2回の総合教育会議では、実施計画（案）につきまして、住民説明会とパブリックコメントにおいて、保護者の皆さまからいただいたご意見を踏まえまして、実施計画の策定を進めて参りました。</p> <p>本日は、実施計画の策定を主な議題としております。</p> <p>これまでも、この総合教育会議で学校再編について協議をしてきたことではありますが、本日、正式に案を取って「策定」となります。</p> <p>教育委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からのあいさつとさせていただきます。</p>
事務局 (鈴木教育部長)	<p>続ききまして、本日の協議・調整事項に入ります。南知多町総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、町長のもとで議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
石黒町長	<p>それでは、進行していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。では、早速、協議・調整事項に入らせていただきます。</p> <p>まず、「(1) 中学校再編住民説明会等の結果報告について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (鈴木教育部長)	<p>(中学校再編実施計画（案）についてパブリックコメントの実施状況について説明した。また、10月10日の住民説明会、10月11日の日間賀島地区の保護者説明会の実施状況について説明した。)</p>
石黒町長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ただいまの事務局からの報告について、ご意見ご質問等ありましたら</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>お願いします。</p>
折戸委員	<p>篠島は、日間賀島の皆さんのコメントや動きに非常に関心が高まっていることが感じられる思いです。</p>
坂口委員	<p>いろんな問題はあると思いますが、通学の船の問題が一番大事だと思います。毎回、保護者説明会に出席していますが、やはり帰りのチャーター便をもっと名鉄海上観光船と深く交渉していただきたいです。帰りのチャーター便は、可能であると思っています。</p>
石黒町長	<p>この件に関して、ご意見ありますか。</p>
滝本総務部長	<p>まずは教育委員会の方で、子どもたちを第一に考えて、どうゆう方法がいいのかということを決めていただければと思います。それがチャーター便になったり、定期船を利用することになったりと言うこともあると思いますが、子どもたちを第一に、考えていくことが大事だと思っています。</p>
坂口委員	<p>やはり子どもたちが行きも帰りも座れるようにしていただきたい。船に乗って席が一杯で立っているという状態は、波の強い日もありますので、子どもたちにとっては辛いのではないかと思います。</p>
滝本総務部長	<p>そこで、一度教育委員会で案を練って頂いて、町長部局と調整をさせて頂きたいと思っています。</p>
石黒町長	<p>船の定員数について、何か決まっているものがありますか。</p>
滝本総務部長	<p>船は立ち席を含めて定員何人というのが決まっていると思います。</p>
坂口委員	<p>決まった定員内に収まっても、全員が座れることはありません。荷物を持って乗ってくる人は、一つの席だけでなく、三つ並びの席に一人で座ることがあるので、書類上の数字だけで計算してはいけないと思います。だから、例えばチャーター便が無理なら、船の航路を完全に日間賀島と篠島で分けるなど、そういう便を作ってもらうなどの交渉をしていく必要があると思います。</p>
滝本総務部長	<p>そうですね。一斉下校とか部活の関係もありますので、一回いろい</p>

発 言 者	発 言 内 容
鈴木教育部長	<p>ろ案を練って頂くことが先決かと思います。</p> <p>名鉄海上観光船との交渉については、私や課長、係長でお話を伺っています。その中でいろいろな条件を提示して頂いた状況でありまして、朝のチャーター便についても名鉄海上観光船さんが考えて頂いて、定期券による販売も見込んでの必要経費分として、提示を受けています。</p> <p>帰りのチャーター便については、船員のシフトであるとか、夕暮れの暗くなってからは、船員が2人必要であるとか、そういうことで、午後4時45分から、2人体制で師崎港発、篠島経由で日間賀島行きの航路になっている。そういった理由で帰りのチャーター便は難しいと言うような説明を聞いている状況であります。今後、どこまで対応して頂けるものなのか、交渉の努力が必要と考えています。</p>
石黒町長	<p>坂口委員から頂いた意見を含めまして、教育委員会でしっかりした通学に対しての考え方を示して交渉していただきますようお願いいたします。</p>
滝本総務部長	<p>交渉には、同席させていただきます。</p>
石黒町長	<p>吉原委員さん、いかがですか。</p>
吉原委員	<p>今、皆さんがおっしゃられていたように、船での通学においては、子どもたちのことを一番に考えてもらいたいです。</p>
石黒町長	<p>山下委員さん、いかがですか。</p>
山下委員	<p>教育委員会で言わせてもらいましたが、半島側と島側の温度差の違いというのをすごく感じています。豊浜に中学校を新しく作るに当たっての地形に関してですが、南知多町が中学校を作ることで、県からの助成はありますか。</p>
石黒町長	<p>県からは、ありません。補助は、国からです。</p>
山下委員	<p>学校周辺は、崖が多いと思いますが、県の方で対策はとってもらえることはできますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鈴木教育部長	建設課と相談をしまして、急傾斜地の保全というところの優先度を上げられるかどうか検討は必要だと思います。
山下委員	土砂災害警戒区域が西側にありますが、その辺は、直接通学路には関係ないと思います。東にも山がありますよね。現在の体育館は、山を削って建てたと思われます。建て替えとなると、そういった所の保護も必要になってくると考えます。
石黒町長	山下委員のおっしゃる通り、県の崖条例があります。山下委員さんは、建築士という立場からいかがですか。
山下委員	崖条例に関しては、崩れないという知事の意見があれば、いろいろ処置する必要はないと考えますが、その根拠となる調査が必要となります。土砂災害警戒区域というのは土砂が崩れるかも知れないところが指定されていますので、そこを保護してもらわないことには、一番怖いのではないかと考えます。
石黒町長	実質的には県の事業になりますよね。
山下委員	はい。だから、県の予算がとれるか、どうかだと考えます。
石黒町長	もちろん、建設するにおいて、どうしてもやらなければいけない事業だったら、全力でやってもらうように要望していきます。ただ、地形をどういうふうにしていくかということに関しましても、克服できるという前提で計画していますので、もし万が一どうしてもと言うことになれば、そのときにいろんな提案をできるだけ早くしていくようにしますが、現段階では、実施できる見込みでありますし、後は、金銭的な問題が大きくでてきます。財政当局と話し合いながら、一番いい方法で、予定内の中で収めることができるかどうか、検討していく必要があると思います。
滝本財政課長	そうですね。先程からも皆様のご意見として、まず最善の通学にしる、校舎を作る条件にしる、最善の案を考えた上で財政的にそれで今後いけるのかどうかをできるだけ早く結論を出して進めていくことが大事だと思っております。まず皆さんのそういった最善の案を出して頂くということが一番大切かと感じております。

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	他に、ご質問等もないようですので、次に移ります。「(2) 南知多町立中学校再編実施計画について」、事務局の説明を求めます。
事務局 (鈴木教育部長)	(南知多町立中学校再編実施計画の策定について説明。定例教育委員会で指摘のあった修正点を説明。7ページの防災・安全対策の中の文章を修正並びに加筆したことを説明。)
石黒町長	事務局の説明が終わりました。 ただいまの事務局からの報告について、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。
高橋教育長	先程の定例教育委員会の中で、修正箇所が1カ所ありました。意見交換会や住民説明会の中で、たくさんのご意見を頂いているものですから、そういう意見を踏まえた実施計画になっているかどうか、というのを多くの目で今から見て頂いて、修正があれば、この場で修正し、策定と言う形にしていきたいと思います。今、部長の説明を聞いていて、或いはこの前の定例教育委員会の中での両島の委員の方の意見を踏まえると、6ページの第一段階の2つめ※印に「定期船の利用を基本に検討していきます」と記載されていますが、確かにそうですが、これでこのままで本当にいいのかどうか、というのを再度検討していただきたいと思います。島の方たちの要望に込んでいる内容になっているかどうか、というのをもう一度考えて欲しいと思います。
石黒町長	具体的に、今ご指摘して頂いて、どのような案がありますか。
高橋教育長	具体的な案は、すぐに思いつきませんが、下校時の定期船の利用について確かに検討はしますが、名鉄海上さんと協議をしながら、条件を出し合って、すり合わせをして、「予算でこれだったら対応できる」というすり合わせがまだ可能だと思っていますので、そういう内容を上手くこの中に表現できないかと思っています。
石黒町長	それも踏まえて、協議していきますとは書いてあります。
高橋教育長	はい、この文章だと、「待合の混雑の対応について協議していきます。」となっていますが、チャーター便のことについて協議するというような文章になっていない気がします。

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	おっしゃる通り、明確な文章とはいえないですね。
高橋教育長	はっきりしていないと思います。
石黒町長	これについて、皆さん、何かご意見ありませんか。
折戸委員	<p>先程の定例教育委員会の中で、お話しさせて頂いた内容ですけど、船の座席の数と座っている人の数は、僕らはよく船に乗るので分かりますが、大体3人の席に3人座っている人なんてだれもいないですし、そこに座っている人に中学生が、「おじさんちょっと席を詰めて」と言うことは、100パーセント言えないと思います。机上の計算ではなくて現状をとらえて、子どもたちのことを第一に考えて頂きたいと思います。この「定期船の利用を基本に検討していきます」と言うところは、ないのが本当は望ましいです。つまり、「定期船の利用、臨時便での対応など」、とした方がいいと思います。</p>
石黒町長	<p>ありがとうございます。それでは確認で読みますと、「<u>両島生徒の下校時は、定期船の利用、臨時便での対応など、また、待合の混雑の対応について名鉄海上観光船と協議していきます。</u>」ということですか。</p>
折戸委員	その方が、僕らの意思に近いです。
坂口委員	そうですね。「基本に検討していきます」ですと、定期船が基本になってしまうので、その方がいいです。
滝本総務部長	<p>基本的に帰りが一斉下校の場合を除いて、通常の下校時に皆さん一緒に帰るというような時間帯になるのかという所ですけど、例えば部活をやっている子、やらない子とかを想定して、基本にというようなことが書いてあるものですから、全員が一斉に帰るという想定じゃないところから考えが始まっているのかなという気がしていますが、その辺はどうでしょうか。</p>
鈴木学校教育課長	<p>これを作った背景は、例えば、テストだとか、早く帰る場合は、ここにあります通り、臨時便等の対応というのは考えています。それ以外の一斉下校ではない、3年生や部活がない子どもたちが帰る第一便、部活が終わって帰る第二便については、基本的には、定期船を考えています。一斉下校や夕方ではなくて昼間だとかの時間であれば、臨時</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>便での対応も可能であります。そういう考え方で、この「定期船の利用を基本に検討していきます」は、通常は定期船、一斉下校等はチャーター便で対応できるのではないかと書くことを書かせてもらいました。また、「待合いの混雑の対応について協議します」と書いてありますが、待合場所である観光センターの所有者は町でありまして、そこへ名鉄海上が1階部分を切符売り場として借りていますので、この表現は削除した方がいいと考えます。</p> <p>あと、例えば待合室で待っているというよりも、内海中学校の出発を調整し、早めに師崎港に着いたとしても、バスの中で待機すればいいと思います。「早く着いたらバスの中で待つ。船が着いたら移動していく。」それでいいと思います。</p>
山下委員	バスは、何台出ますか。
鈴木学校教育課長	大型バス一台です。
山下委員	帰りの時間は1台でピストン運行ですか。
鈴木学校教育課長	日間賀島については、貸し切りバス55人乗り1台を下校時に2便想定しています。
山下委員	今、この人数を見ても、R10年で54人、一台で一気に乗れる数にはなっていますが、全員がそれで1回で帰ってくるわけじゃないということですよ。想定としては。
鈴木学校教育課長	そうです。
山下委員	部活をやる子、やらない子等で、1日2回は運行するわけですね。
鈴木学校教育課長	はい。
折戸委員	部活がない場合、師崎港にバスは何時に着きますか。

発 言 者	発 言 内 容
鈴木学校教育課長	現在想定しているのは、内海駅 16 時 10 分発、師崎港に 16 時 32 分着です。
折戸委員	それが、部活がない便ですね。
鈴木学校教育課長	そうです。第二便が、これも部活の終了時刻によって変わってきますが、想定では、17 時 50 分発で師崎港に 18 時 12 分ぐらいに着きます。
折戸委員	多分それでバスの中で待っていても、戻る時間は十分あるかと思いますが、先ほど 16 時 32 分師崎着と言われましたが、16 時 30 分発の船がありますよね。
鈴木学校教育課長	そうですね。あります。
折戸委員	それは日間賀島に直接行くと思います。
鈴木学校教育課長	はい。
折戸委員	船の出発時間を 5 分ずらせば、乗ることができますし、逆にバスの出発を 5 分早めれば、その船に乗ることができます。ただ、第 2 便の場合は、確実に篠島経由で帰る必要がでてきます。そうするとその船には篠島に行く人も、日間賀島に行く人も乗っていて、船は大きいけれども、一定の例えば 50 人とか子どもたちが座れるような状態にはなっていない中で、冬の時期に入っていくと、篠島の出入り付近は、特に波の荒れるところでもあります。それを篠島に入る時と出る時の 2 回通らないといけないことになります。18 時の船だけ日間賀島へ直行の船を検討してもらえれば、話としては何となく解決できると思います。ただ先ほどの 16 時半については、多少の調整がもちろん必要ではありますが、18 時台の方をちょっと検討頂いた方がいいと思います。
山下委員	航路は、変えられないものですか。日間賀島から行くとかいうのは。
折戸委員	そうすると、いろんな問題が起きると思います。

発 言 者	発 言 内 容
滝本総務部長	<p>船の時間については、以前私は、海っこバスの担当でしたので、名鉄海上さんといろいろお話をさせて頂きました。その時にバスの時刻によっては航路も変えていく必要があるというようなお話をさせて頂きました。船の時間というのが、学校の意見がこういうことでしたら、50人という人数を運ぶことになりますので、その辺は調整が可能だと思っています。これは今後協議して、なるべく生徒ファーストのような時間に持っていかれたらと思います。</p>
折戸委員	<p>こちらで申し上げているのは、どちらかというのと臨時便というよりも、チャーター便を日間賀の部活終わりの子のために一本出して欲しいという思いです。</p>
滝本総務部長	<p>部活終わりが最終便になるということですか。</p>
鈴木学校教育課長	<p>そうですね。部活終わりは多分夏だとか冬で最終下校時刻が、変わってきます。</p>
高橋教育長	<p>夏だと多分18時くらいに内海中を出るようなことですね。18時20分か25分くらいには、師崎港へ着けるということです</p>
鈴木学校教育課長	<p>そうですね。内海中ですと、5月1日から7月31日は、最終下校時刻が17時45分で、冬は16時30分です。</p>
滝本総務部長	<p>そうすると、山下さんが言われた、逆回りもありかも知れませんね。逆回りにすると今度、篠島の入り口を2回経験しなくても、いいことはいいですが、それが許されるかどうか、これも協議になってくるかとは思っています。</p>
折戸委員	<p>今の状況で行けば、それで物事が解決するような気がします。島の大人達もそのために、帰りに子どもたちが一杯乗っているから先に日間賀島に寄りましたよ、と言ってそんなに怒る人はいないと思う。 ただ名鉄海上さんが、そこの時間に一本別に出しましょう、と言ってくれれば一番いい。</p>
坂口委員	<p>今、一本増便を出すか、本当に昼間走っている便で日間賀は日間賀、篠島は篠島という便を最終便まで続けてもらいたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>伊良湖フェリーが廃止されたときから、名鉄海上観光船と町と両島の方たちと協議をする会ができております。その中でいろいろ具体的なことは提案できますので、その中で対応していこうと思います。</p> <p>では、この文章をどうするかということに関しまして、課長の方から、観光センターは町が所有しているので、待合の混雑の協議ということに関して省いていいのではないかと提案がありました。そうすると、折戸委員の言われた「定期船の利用・臨時便での対応等、名鉄海上観光船と協議していきます」とつながりがいいですね。</p> <p>そのような内容で一回、事務局の方で整理して、今の意見を反映するというので、皆さんがよろしければ進めて参りたいと存じます。</p> <p>よろしいでしょうか。では、そういう形でよろしくお願いします。その他何かございませんか。計画全体に対しまして、印象でも結構です。</p>
鈴木教育部長	<p>それでは記述について確認します。今ご提案のありました6ページの空欄の真ん中の2つ目の※印です。修正案を申し上げます。</p> <p>「<u>両島生徒の下校時は、定期船の利用、臨時便での対応などについて名鉄海上観光船と協議していきます。</u>」と訂正します。</p>
石黒町長	<p>よろしく申し上げます。他によろしいでしょうか。それでは、事務局の提案どおり、この実施計画については、町長部局と教育委員会の調整は、できたということで、事務局にはただいまのご意見等を含めて、今後の事務を進めていただくようお願いします。</p> <p>また、今後のスケジュールについて、予定で結構ですので、分かる範囲で説明していただきたいと思います。</p>
事務局 (鈴木学校教育課長)	<p>(11月1日に日間賀島、11月15日に篠島で保護者相談会を実施予定。半島側については、11月下旬を予定。HPや意見箱を設置して、不安に思っている保護者の意見をできるだけ吸い上げる形をとることを説明。12月に4中学校統合の条例を提出予定。条例可決後は、再編委員会を設置して統合校について協議していくことを説明。)</p>
事務局 (鈴木教育部長)	<p>(10月28日の議員勉強会にて、議員に今回の実施計画が決定したことを説明予定。)</p>
石黒町長	<p>次に(3)その他ですが、本日の協議事項の全体につきまして、</p>

発 言 者	発 言 内 容
中村指導主事	<p>個人的なご意見、ご要望でも、かまいませんので、何かありましたらよろしく申し上げます。</p> <p>コミュニティ・スクールについて説明します。コミュニティ・スクールは、「学校と地域住民が力を合わせるんだ」ということで、地域とともにある学校作りとか、学校を核とした地域作りを合わせて狙うということです。このあり方というのは、例えば町の総合計画にあります「住みよい町をあなたとつくる」とか、町の目指していく理念とも合致していくところだろうと考えています。住民の方が学校にどんどん関わっていただく、そして子どもたちが南知多の各地区もそうですが、南知多全体の郷土に対する学習を深めていくというようなことが南知多町だからこそとても大事になってくると思います。</p> <p>今、各学校にお邪魔したときに、そういった郷土学習を進められるような方向性について話をさせて頂いています。また、コミュニティ・スクールの具体的なことをお願いする機会があると思いますが、そのときには、町長部局の職員のお力をたくさんお借りしたいと思ひますし、教育委員さんも地区の中から、「よし、そういうことだったら学校の力になるぞ」と言うような人をたくさんご紹介頂いて、地域の方が学校を支えてくださるような、そういう学校作りができていけるようにしたいと思っております。中学生は、自分の住んでいる地区を離れた学校に行くということになってしまいますが、大人の人たちもそのまま離れてしまうのではなくて、大人の人たちは、離れているけれど、自分たちの地区の子どものために足を運んで、声を掛けてやるぞ、と言うようなコミュニティ・スクール作りにお力をお貸し頂けたらと思ひます。</p>
石黒町長	<p>ありがとうございました。</p>
高橋教育長	<p>先ほど出ていたのと重なりますが、問題は日間賀島だけでなく、各地区小5から中1までの保護者の方々は、「統合には賛成と言いなながらも不安はたくさん持っておられた」と思ひました。これは、当然だと思ひます。4地区統合は、初めての試みですから。また、教育委員さんにもアンテナを高くして頂いて、もし、保護者の方からもっと説明を聞きたいと言うような声があれば、事務局へ連絡を頂きますようお願いいたします。日程調整をして説明に行ったりするというのも十分可能です。これから一年大事な時期ですので、よろしくお願ひします。</p>

